

平成 30 年 10 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- 風しんの報告数が多い状態が続いており、今後の推移に注意が必要と考えられます。
- 伝染性紅斑の報告数が多い状態が続いています。
- 百日咳の報告が 40 件ありました。

全数把握の対象

【10 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	17 件	急性脳炎	1 件
腸チフス	1 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	2 件
E 型肝炎	1 件	ジアルジア症	1 件
A 型肝炎	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	4 件
デング熱	1 件	水痘(入院例に限る)	2 件
レジオネラ症	8 件	梅毒	10 件
レプトスピラ症	1 件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 件
アメーバ赤痢	4 件	百日咳	40 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	15 件	風しん	53 件
急性弛緩性麻痺	1 件		

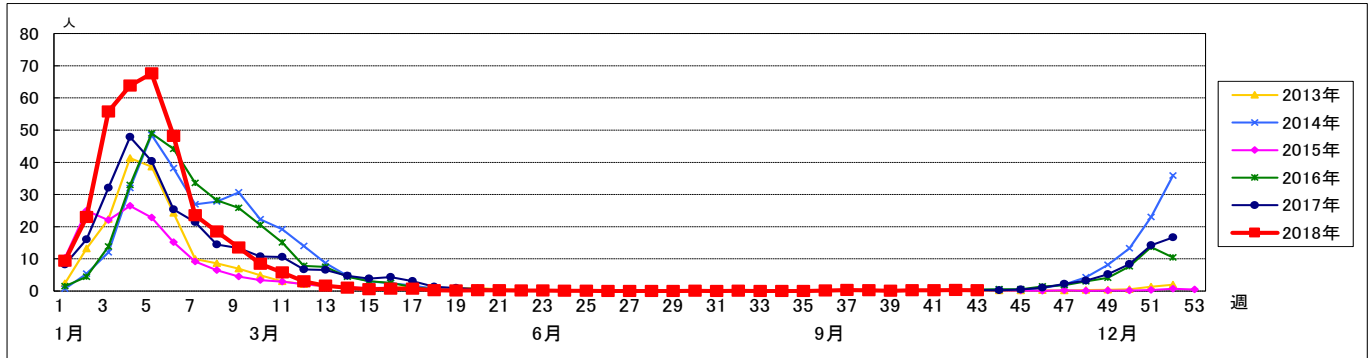
- 腸管出血性大腸菌感染症: O157 の報告が 12 件(うち 2 件が無症状病原体保有者)、O26 の報告が 4 件(うち 2 件が無症状病原体保有者)、O121 の報告が 1 件ありました。
- 腸チフス: インドでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- E型肝炎: 経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- A 型肝炎: 感染経路等不明の報告が 1 件ありました。
- デング熱: ベトナムでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が 8 件あり、感染経路不明です。
- レプトスピラ症: 水系感染と推定される報告が 1 件ありました。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が 4 件あり、2 件は同性間の性的接触、1 件は経口感染、1 件は感染経路等不明でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 15 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 急性弛緩性麻痺: ポリオ含有ワクチン接種 4 回ありの幼児の報告が 1 件ありました。
- 急性脳炎: 小児の報告が 1 件あり、病原体不明でした。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者の男性の報告が 2 件あり、いずれも国内での性的接触で、同性間が 1 件、異性間が 1 件でした。
- ジアルジア症: 1 件の報告があり、感染経路等不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 60 歳代の報告が 2 件(いずれもワクチン接種なし)、80 歳以上の報告が 2 件(ワクチン接種あり 1 件、不明 1 件)ありました。
- 水痘(入院例に限る): 20 歳代の報告が 2 件(ワクチン接種あり 1 件、不明 1 件)ありました。
- 梅毒: 10 件の報告(無症状病原体保有者 2 件、早期顕症梅毒 I 期 6 件、早期顕症梅毒 II 期 2 件)がありました。感染地域はいずれも国内で、感染経路は異性間の性的接触が 9 件、詳細不明の性的接触が 1 件です。男性 9 件、女性 1 件でした。
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 60 歳代の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- 百日咳: 10 歳未満では乳児が 5 件(ワクチン接種あり 2 件、なし 3 件)、小児で 18 件(ワクチン接種あり 16 件、不明 2 件)の報告があり、10 歳代で 11 件(ワクチン接種あり 9 件、不明 2 件)、30~40 歳代で 2 件(ワクチン接種不明)、50 歳代 2 件(ワクチン接種不明)、60 歳以上 2 件(ワクチン接種なし 1 件、不明 1 件)の報告がありました。

19 風しん:検査診断例 50 件、臨床診断例 3 件が報告されています。10 歳代 1 件(ワクチン接種なし)、20 歳代 13 件(ワクチン接種あり 1 件、なし 5 件、不明 7 件)、30 歳代 11 件(ワクチン接種あり、1 件、なし 1 件、不明 9 件)、40 歳代 18 件(ワクチン接種なし 4 件、不明 14 件)、50 歳代 8 件(ワクチン接種なし 3 件、不明 5 件)、60 歳代 2 件(ワクチン接種なし 1 件、不明 1 件)でした。男性 46 件、女性 7 件でした。

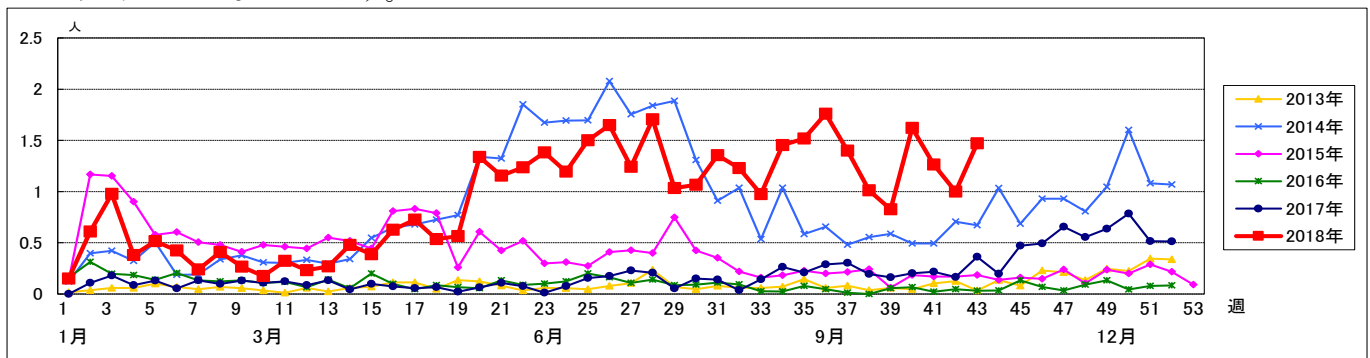
平成 30 年 週一月日対照表		
第 39 週	9 月 24 日	～ 30 日
第 40 週	10 月 1 日	～ 7 日
第 41 週	8 日	～ 14 日
第 42 週	15 日	～ 21 日
第 43 週	22 日	～ 28 日

定点把握の対象

1 インフルエンザ:流行開始の目安となる定点あたり 1.0 は超えていませんが、定点あたり 0.1～0.3 で推移し、第 43 週は 0.18 でした。市内の学校における集団発生は第 36 週にて報告されています。



2 伝染性紅斑:2017 年第 45 週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第 43 週では定点あたり 1.47 となっています。



3 性感染症:9 月

性器クラミジア感染症	男性:27 件	女性:27 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:10 件	女性:14 件
尖圭コンジローマ	男性: 4 件	女性: 1 件	淋菌感染症	男性:16 件	女性: 1 件

4 基幹定点週報:

	第 39 週	第 40 週	第 41 週	第 42 週	第 43 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報:9 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>